

第77期

スター精密株式会社

2002年2月期 事業報告書

株主の皆様へ

STAR'S REPORT

77

star 

ご
あ
い
さ
つ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに2002年2月期(2001年3月1日より2002年2月28日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。

2002年5月



取締役社長

糟谷省三

中国における生産・販売に大きな手応え。 次なる飛躍に向けたチャレンジ

当期の業績および今後の考え方について、当社社長の糟谷省三からご説明させていただきます。

Q 当期の業績から聞かせてください。

A 連結の売上高は前期比17.3%減の432億円、経常利益は42億円を確保できましたが、当期純利益は、退職給付会計の適用に伴う変更時差異の一括償却や株式市場の低迷による減損処理および未実現利益の税効果の影響により、5億7千万円にとどまりました。

Q 予想よりも数字が下回った要因は。

A 当社売上高の約70%以上は情報技術(IT)関連市場向けのものですが、それらが世界的なIT不況の影響を受けたこと、また、中国市場の徴税システム向け大型プリンタがシステム自体の変更の影響を受け、出荷停止を余儀なくされたことなどが大きな要因であります。

Q 市場環境変化の影響を受けたということでしょうか。

A プリンタを主体とした特機事業のみならず、コンポーネント事業、工作機械事業、精密部品事業においても外部環境が悪化しました。コンポーネント事業は、マイクロフォン、スピーカーおよびレシーバーの新製品を市場投入しましたが、電子ブザーが携帯電話機市場の低迷によるメーカーの生産調整により、受注が減少しました。工作機械事業は、上半期が欧州において医療関連分野を中心に比較的好調だった反面、下半期以降は特に日本を含めたアジアにおける受注が低迷しました。精密部品事業においては、光ファイバーの普及が予想より遅れたことなどにより、コネクタ部品の受注が減少しました。

しかし、今後はそれぞれの市場が再び回復基調に戻ることは予想され、実際に電子ブザーの出荷量は回復の兆しをみせており、また、中国の徴税システム向け大型プリンタの販売再開の目処がたちました。

Q 今後に対する考え方を聞かせてください。

A 当社の経営環境には、「ITの進展」、「環境重視の社会」、「グローバル化」という3つの潮流があります。この潮流は普遍的なものであり、一時的にIT関連需要が減退しても、当社を取り巻く環境に変化はありません。短期的にみてもグローバル化による世界経済市場の単一化とIT関連の技術サイクルの短期化によって、企業経営の舵取りはますます難しくなっています。

このような状況のなかでは、事業の選択と集中が必ずしも成功をもたらすとは言えず、もう一つの認識として、「将来の不透明さ」を経営の前提とすべきと考えます。不透明な時代に対処するには、よりレベルの高いリスクマネジメントが必要となります。

Q 具体的な施策は。

A 第一に、バランスシートの効率性を高め、総資本回転率の向上を図り、環境変化リスクへの対応力を高めていくことを財務戦略上の大きな目標とします。たとえば、これまで世界に広がる工作機械の販売子会社は、独自の販売計画のなかでそれぞれが在庫をコントロールしてきました。これを一元管理することで販売子会社間での在庫のやり取りを可能にし、全体の在庫水準を圧縮できると考えています。資材調達では、中国・大連での現地調達比率を上げることで、大幅なコスト削減が可能となります。設備投資においても従来以上に大胆な海外シフトを実行し、工作機械事業では、中国でアジア向け製品の本格的な生産を開始し生産の適地化を推進します。また、設備機械の減価償却期間を短縮し、製品ライフサイクルと設備費用のバランスを改善します。このような施策を通じて、より変化に対応できる企業体質へ変革していきます。これにより効率的な資産運用を図るとともに、ROAを改善させていきます。

第二に、特定顧客・特定製品に偏重することに伴うリスクを分散させていくことです。そのため販売サイドにおいては、当社が既に強みを発揮している分野における製品と顧客の多様化を一層推進し、より安定的な事業基盤を構築します。

Q それぞれの事業戦略を聞かせてください。

A コンポーネント事業では、総合音響部品メーカーを目指します。たとえば、スピーカーはカーナビゲーションシステムなどとして、レシーバーは使い捨て型の補聴器として、それぞれ新たなマーケットを生み出します。なかでもマイクロフォンは、世界最小容積タイプの開発に成功し、今後電子ブザーに続く主力製品に成長する可能性もあります。

プリンタ事業においては、中国市場の徴税システム向け大型プリンタが、長期的に有望であることがはっきりしてきました。現段階での需要は130万台と言われていますが、2003年以降も数百万社のユーザー数が見込めそうです。最終的には中国国内のすべての事業体が、この徴税システム用プリンタの導入を行うことになっています。普及完了は中国五輪前年の2007年くらいと言われていています。こうした拡大の見込まれる市場に対し、現在の大型プリンタ市場で培ってきた徴税システムに関する強みを十分活かし、市場支配力を高めていきたいと考えています。

工作機械事業においては、これまでの欧米偏重から、アジアにも注力いたします。アジアでは、ローエンド製品の生産・販売の強化を予定しています。これまでアジア市場は、世界最高の性能と高付加価値を追求してきた当社の戦略とは必ずしも合致しない市場でしたが、今後は生産拠点も中国に本格移管し、販売網の強化を行うことで、収益性に貢献する製品提供を追求します。

Q 飛躍の鍵は中国ということでしょうか。

A 中国は現在「世界の工場」と呼ばれており、この国の工業生産量は今後長期にわたって成長しつづけることは間違いありません。そのような環境でこそ「最小」にこだわる当社の生産技術が十分に活かされるはずであります。当期は、精密部品事業においても上海に合弁会社を立ち上げ、本格的な海外生産を開始しました。ここでは現在オーディオ部品が中心ですが、オーディオ部品以外でも需要がかなりあることが分ってきました。

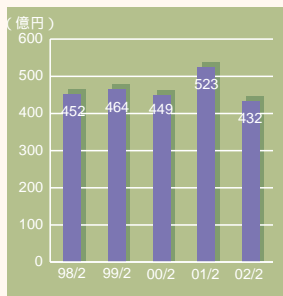
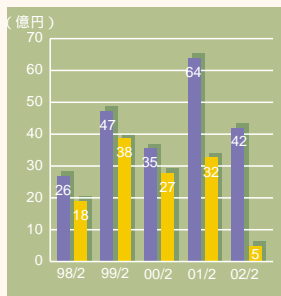
このように中国はコンポーネント、プリンタ、工作機械を含めた全事業分野において、生産のみならず、販売面においても有望な市場であります。日本における成功の歴史を、中国で再現できる可能性を感じております。

連結ハイライト

連結主要財務情報

項目		98年2月期	99年2月期	00年2月期	01年2月期	02年2月期
経営成績						
(売上高)						
電子機器事業	百万円	24,515	24,678	26,408	28,476	22,799
工作機械事業	百万円	15,048	16,832	14,384	19,410	16,768
精密部品事業	百万円	5,655	4,968	4,120	4,416	3,696
合計	百万円	45,219	46,479	44,913	52,304	43,265
(営業利益)						
電子機器事業	百万円	1,329	2,749	3,663	4,414	2,226
工作機械事業	百万円	2,547	3,824	2,038	3,352	3,313
精密部品事業	百万円	1,706	1,200	902	831	672
消去又は全社	百万円	1,894	1,964	2,052	2,246	2,149
合計	百万円	3,689	5,810	4,552	6,352	4,063
経常利益	百万円	2,628	4,729	3,591	6,477	4,213
当期純利益	百万円	1,874	3,899	2,702	3,273	577
1株当たり当期純利益	円	33.17	69.02	47.84	57.91	10.21
財政状態						
総資産	百万円	60,646	61,524	62,950	72,211	65,393
株主資本	百万円	37,023	40,583	42,931	46,798	46,977
株主資本比率	%	61.0	66.0	68.2	64.8	71.8
1株当たり株主資本	円	655.37	718.40	759.48	827.84	831.22

売上高

経常利益
当期純利益

営業の概況

電子機器事業

小型音響製品は、マイクロフォン、スピーカーおよびレシーバーなどの新製品を市場投入いたしました。電子ブザーが携帯電話機市場の低迷からメーカーの生産調整が長期化した影響を受け、売上げは大幅に減少いたしました。

小型プリンタは、ドットプリンタからサーマルプリンタへのシフトが進む欧米POS市場へ新製品を投入したことにより、売上げは増加いたしました。大型プリンタは、中国市場の徴税システム向けが税務当局による管理ソフトウェアの仕様変更により、年間を通して出荷停止を余儀なくされたことなどにより、売上げは大幅に減少いたしました。

以上の結果、当事業の連結売上高は227億9千9百万円(前期比19.9%減)となりました。

なお、中国での製販体制強化のため、昨年4月に中国・大連市にある大連三得電子有限公司への追加出資を行い子会社化する一方で、国内生産子会社の再編を実施いたしました。



小型音響製品



大型プリンタNX-600

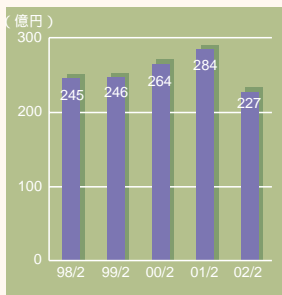


小型プリンタTSP600

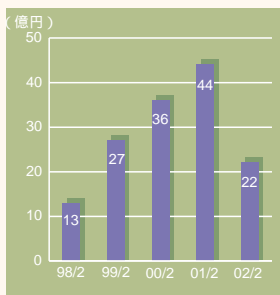


カードリーダーTCP2000

売上高



営業利益



営業の概況

工作機械事業

CNC自動旋盤は、医療用部品など高精度複雑加工に適応したSVシリーズなどの重複合機や、加工時間の大幅な短縮を実現した当社独自の制御方式を搭載したSI-12などが市場での高い評価を受けました。また、同方式をさらに発展させたハイブリッドコントロールシステム搭載の新製品ECAS-12/20を市場投入し販売活動を開始いたしました。

欧米市場では、医療関連分野を中心に比較的安定した設備需要を背景に堅調に推移いたしました。アジア・国内市場におきましては、IT関連市場の設備需要後退や国内産業空洞化などの影響により受注が減少したため、売上げは減少いたしました。

以上の結果、当事業の連結売上高は167億6千8百万円(前期比13.6%減)となりました。



ECAS-20



SI-12

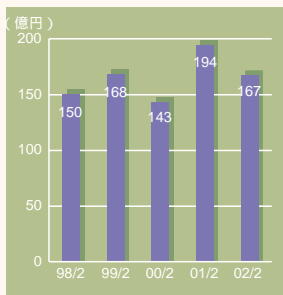


SV-12

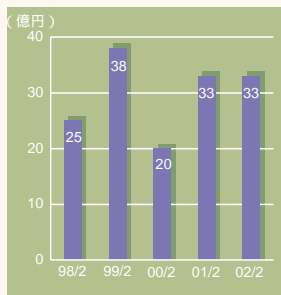


SR-20R

売上高



営業利益



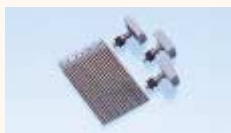
精密部品事業

腕時計部品は、国内消費の低迷とムーブメント価格の低下から腕時計メーカー各社が大幅な生産調整を行ったため、受注が減少いたしました。さらに、メーカー各社から引き続き値引きが要請されるという厳しい環境のなかで、売上げは減少いたしました。

一方、非時計部品も自動車部品、医療部品は比較的堅調に推移したものの、IT不況の影響により光コネクタ部品およびパソコン関連機器部品の受注が落ち込み、売上げは大幅に減少いたしました。

以上の結果、当事業の連結売上高は36億9千6百万円(前期比16.3%減)となりました。

なお、海外市場での受注拡大のため、昨年4月に中国・上海市に子会社上海星栄精機有限公司を設立し、生産を開始いたしました。



写真・インサートボタン



リユーズ・ヘッダーネジ・歯車

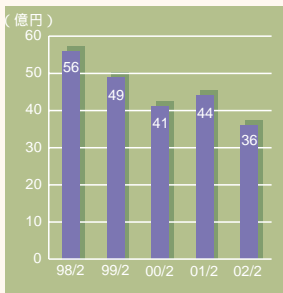


光コネクタ部品

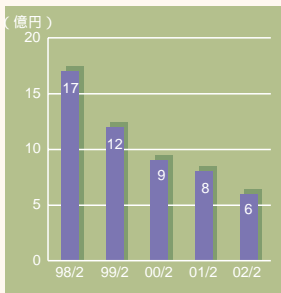


医療用部品

売上高



営業利益



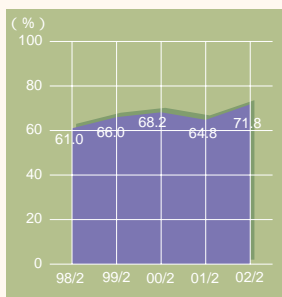
主要財務データ(連結)

要約連結貸借対照表

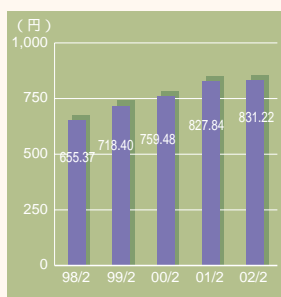
単位:百万円

科目	当 期 02年2月期	前 期 01年2月期
資産の部		
流動資産	37,979	48,053
固定資産	27,414	22,643
為替換算調整勘定	-	1,514
資産合計	65,393	72,211
負債の部		
流動負債	16,045	23,868
固定負債	2,227	1,441
負債合計	18,272	25,310
少数株主持分		
少数株主持分	143	101
資本の部		
資本金	12,721	12,721
資本準備金	13,876	13,876
連結剰余金	20,280	20,202
その他有価証券評価差額金	188	-
為替換算調整勘定	299	-
自己株式	12	2
資本合計	46,977	46,798
負債、少数株主持分及び資本合計	65,393	72,211

株主資本比率



1株当たり株主資本



要約連結損益計算書

単位:百万円

科目	当 期 02年2月期	前 期 01年2月期
営業損益の部		
売上高	43,265	52,304
売上原価	27,294	33,863
販売費及び一般管理費	11,907	12,089
営業利益	4,063	6,352
営業外損益の部		
営業外収益	617	585
営業外費用	466	460
経常利益	4,213	6,477
特別損益の部		
特別利益	147	181
特別損失	2,208	1,343
税金等調整前当期純利益	2,152	5,315
法人税、住民税等	1,557	2,013
少数株主利益	17	28
当期純利益	577	3,273

要約連結剰余金計算書

単位:百万円

科目	当 期 02年2月期	前 期 01年2月期
連結剰余金期首残高	20,202	16,341
過年度税効果調整額	-	1,092
連結剰余金増加高	96	-
連結剰余金減少高	595	505
当期純利益	577	3,273
連結剰余金期末残高	20,280	20,202

要約連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	当 期 02年2月期	前 期 01年2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	285	8,019
税金等調整前当期純利益	2,152	5,315
減価償却費	3,566	3,204
その他	6,004	501
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,429	7,073
有形固定資産の取得による支出	3,456	6,290
連結範囲の変更を伴う子会社出資金の拠出による支出	2,069	-
その他	1,096	782
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,219	1,134
現金及び現金同等物に係る換算差額	539	371
現金及び現金同等物の増減額	2,956	182
現金及び現金同等物の期首残高	8,809	8,627
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	53	-
現金及び現金同等物の期末残高	5,906	8,809

主要財務データ(単体)

単体主要財務情報

項目		98年2月期	99年2月期	00年2月期	01年2月期	02年2月期
経営成績						
電子機器部門	百万円	21,123	21,948	23,590	30,116	20,260
工作機械部門	百万円	11,174	11,359	10,753	14,663	11,953
精密部品部門	百万円	5,738	5,084	4,227	4,557	3,861
売上合計	百万円	38,036	38,392	38,572	49,337	36,075
(輸出比率)	(%)	(62.8)	(69.6)	(69.4)	(73.9)	(74.0)
経常利益	百万円	2,301	2,327	2,421	6,409	2,393
当期純利益	百万円	1,041	1,107	1,313	2,185	84
1株当たり当期純利益	円	18.44	19.60	23.24	38.66	1.50
財政状態						
総資産	百万円	53,560	53,914	55,128	63,047	55,434
純資産	百万円	39,104	39,873	40,839	43,609	42,898
株主資本比率	%	73.0	74.0	74.1	69.2	77.4
1株当たり株主資本	円	692.19	705.79	722.40	771.40	759.04

要約単体貸借対照表

単位: 百万円

科目	当 期 02年2月期	前 期 01年2月期
資産の部		
流動資産	27,111	38,256
固定資産	28,322	24,790
資産合計	55,434	63,047
負債の部		
流動負債	11,247	18,023
固定負債	1,289	1,413
負債合計	12,536	19,437
資本の部		
資本金	12,721	12,721
法定準備金	14,640	14,605
剰余金	15,736	16,282
その他有価証券評価差額金	188	-
自己株式	12	-
資本合計	42,898	43,609
負債及び資本合計	55,434	63,047

要約単体損益計算書

単位:百万円

科目	当 期	前 期
	02年2月期	01年2月期
営業損益の部		
売上高	36,075	49,337
売上原価	26,998	35,244
販売費及び一般管理費	7,285	8,028
営業利益	1,791	6,064
営業外損益の部		
営業外収益	1,090	737
営業外費用	488	392
経常利益	2,393	6,409
特別損益の部		
特別利益	218	170
特別損失	2,526	2,264
税引前当期純利益	85	4,315
法人税、住民税等	0	2,130
当期純利益	84	2,185
前期繰越利益	5,325	2,651
過年度税効果調整額等	-	1,140
中間配当額	282	282
利益準備金積立額	-	28
当期末処分利益	5,127	5,666

利益処分

単位:百万円

科目	当 期	前 期
	02年2月期	01年2月期
当期末処分利益	5,127	5,666
固定資産圧縮積立金取崩額	5	5
合計	5,132	5,672
これを次のとおり処分いたします。		
利益準備金	-	35
利益配当金 (1株当たり配当金)	282 (5円)	282 (5円)
役員賞与金 (うち監査役分)	- (-)	30 (2)
次期繰越利益	4,849	5,325

- (注) 1. 平成13年11月12日に282百万円(1株につき5円)の中間配当を実施いたしました。
 2. 固定資産圧縮積立金取崩額は、租税特別措置法に基づくものであり、税効果会計適用後の金額であります。



主な海外子会社

会社名/所在地	資本金	持株比率	区分
スターマイクロニクス アメリカ・INQ(SMA) アメリカ・ニュージャージー	6,000千米ドル	100% (100)	販売会社
スターマイクロニクス アジア・LTD(SMH) 香港・九龍湾	1,000千香港ドル	100%	販売会社
スターマイクロニクス UK・LTD(SMU) イギリス・ハイヴィッカム	4,600千英ポンド	100%	販売会社
天星精密有限公司 香港・九龍湾	1,000千香港ドル	70%	生産会社
斯大精密(大連)有限公司 中国・大連市	45,000千米ドル	100%	生産会社
スターマイクロニクス・AG(SMAG) スイス・チューリッヒ	5,000千スイスフラン	100%	販売会社
A&S プレシジョン マシンツールズ・LTD(A&S) イギリス・ダーバイシャー	130千英ポンド	100%	販売会社
スターマイクロニクス MFGドイツ・GmbH(SMMD) ドイツ・アルツァイ	3,936千ユーロ	100% (1)	その他
スターCNCマシンツールCorp(SMTC) アメリカ・ニューヨーク	1米ドル	100% (100)	販売会社
ラグロWH・GmbH&Co.KG(LAGRO) ドイツ・ノイエンピュルグ	500千ユーロ	100% (100)	販売会社
スターアメリカホールディング・INQ(SAH) アメリカ・デラウェア	10,000千米ドル	100%	持株会社
大連三得電子有限公司 中国・大連市	108,067千人民元	98% (5)	生産会社
上海星榮精機有限公司 中国・上海市	16,555千人民元	60%	生産会社

(注)持株比率の欄の()内は、間接所有割合。

国内子会社

会社名	所在地	資本金	持株比率	区分
㈱ミクロ岳美	静岡県静岡市	10百万円	100%	生産会社
東新精機(株)	静岡県小笠郡菊川町	10百万円	100%	生産会社
㈱ミクロ札幌	北海道石狩市	250百万円	100%	生産会社
㈱ミクロ富士見	静岡県静岡市	15百万円	100%	その他
オーエスメタル(株)	静岡県小笠郡菊川町	30百万円	100%	生産会社
㈱ミクロ菊川	静岡県小笠郡菊川町	50百万円	100%	生産会社

会社の概況

会社概要(平成14年2月28日現在)

設立	昭和25年7月6日
資本金	127億2千1百万円
従業員数	925名
営業品目	1.電子機器(電子ブザー、マイクロフォン、スピーカー、レシーバー、大型プリンタ、小型プリンタ、カードリーダー) 2.CNC自動旋盤等工作機械 3.腕時計部品、通信機器用精密部品、自動車関連用精密部品、医療関連用精密部品

役員(平成14年5月23日現在)

代表取締役 取締役社長	糟谷 省三	取締役	鈴木 完次
専務取締役	鈴木 俊弘	取締役	伏見 千秋
常務取締役	佐藤 肇	監査役(常勤)	伊東 勝治
常務取締役	岡本 憲昭	監査役	今林 勲
取締役	金子 忠邦	監査役	石井 浩
取締役	藤原 英夫	監査役	沼田 勝意
取締役	加藤 昌弘		
取締役	興津 智彦		

(注)監査役4氏は、いずれも「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

事業所(平成14年5月23日現在)

本社・機械事業部(営業部)

〒422-8654 静岡県静岡市中吉田20番10号
TEL.054-263-1111

電子機器事業本部

庵原工場 〒424-0066 静岡県清水市七ツ新屋536番地
TEL.0543-47-0111

中吉田工場 〒422-8001 静岡県静岡市中吉田18番9号
TEL.054-261-7721

瀬名川工場 〒420-0913 静岡県静岡市瀬名川二丁目29番33号
TEL.054-261-2431

機械事業部

菊川工場 〒439-0023 静岡県小笠郡菊川町三沢北ノ谷1500番地34
TEL.0537-36-5511

東京営業所 〒101-0047 東京都千代田区内神田二丁目3番6号 楓ビル5階
TEL.03-5256-2656

大阪営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原四丁目1番45号 新大阪八千代ビル6階
TEL.06-6395-1559

名古屋営業所 〒465-0043 愛知県名古屋市名東区宝が丘25番地 グローバル25 5-A
TEL.052-777-1505

諏訪営業所 〒392-0012 長野県諏訪市大字四賀2258番地の7
TEL.0266-58-8132

精密部品事業部

富士見工場 〒424-0065 静岡県清水市長崎391番地
TEL.0543-46-0234

観かん富ぶ山ざん 龍りゅう華げ寺じ



壮大なる雄姿、日本の象徴といえば、富士山。ここ静岡の地では、贅沢にも日常に溶けこんだ風景の一部としてとらえられるほど、親しみある存在。とはいえ季節や天候、場所によって様々に表情を変え、私たちを日々魅了してくれます。

時、遡ること江戸時代初期。富士山に深く魅せられた日近上人は、静岡の、なかでも龍華寺のあるこの地より望む富士山をいたく気に入り、開山をしました。これが龍華寺の始まりです。

龍華寺といえば、清水市指定名勝とされる須弥山式の庭園“観富園”。瓢箪型の池は、それに架かる橋と合せて“心”の字を表し、これを清見湯（駿河湾の一部）に見立て、築山は背後の有度山を形どり、本堂の茅葺き屋根は富士山を模したと言われています。

本堂と庭園を合せて、富士山を望む天下の絶景を縮図とする、何とも粋なはからい。当時の名匠を集めて十数年もの歳月を費や

観富園より清水の街並と清水港、三保の松原、そして雄々しき富士山を一望できる。





海よ山よ、

そして寺よ。

心潤す美のすべてよ。

どうか在这里続けてください。



東海屈指の名勝と呼ばれる“観富園”。清水市指定名勝。

したというのも頷けます。かの滝沢馬琴や高山樗牛も龍華寺を愛し、樗牛にいたっては、遺言によりここに骨を納めています。庭園の上にある七面堂の奥に、樗牛の胸像が立ち、境内には“樗牛館”が建てられ、樗牛にまつわる原稿や書簡らが展示されています。

龍華寺において特筆すべきは、本堂の茅葺き屋根。手入れの行き届いた茅は御殿場から取り寄せ、山形は庄内の職人によって施されています。針金を用いての葺き替えが盛んななか、庄内の職人技は縄で編み上げていく昔かたぎ。雪や風、温度を計算して、

編み上げる力の入れ具合を変えると
いう技が生きています。その昔は40年
に一度だった葺き替えも、今では20年
に一度に。火を焚かなくなったことや
酸性雨の影響があるようです。

時に人は歩みを止め、どこかに身を
委ねたくなる瞬間があります。お寺や山、
海…そのどれもに通じるのは、“静けさ”。
新しい何かを求めて、足を運んでいるわ
けではありません。長い間変わることなく、
静かに、ただそこに在り続けてきた存
在を感じに行くのです。何十年、何百
年を生き続けてきたものの尊さに触れ、
自らを見つめ直す。そして何よりも、美
に心潤すことこそが、長きに渡って心
に在り続けてくれる、財産となるのです。

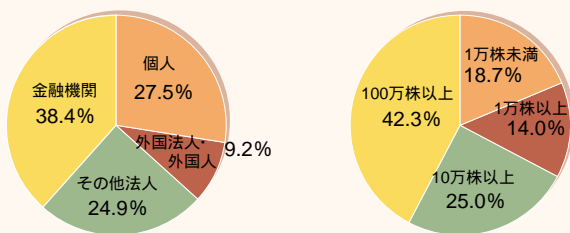


日本最古にして最大と呼ばれる大蘇鉄。樹齢は1,100年。根
回りは6mにも及ぶ。また樹齢300年もの大サボテンも見もの。

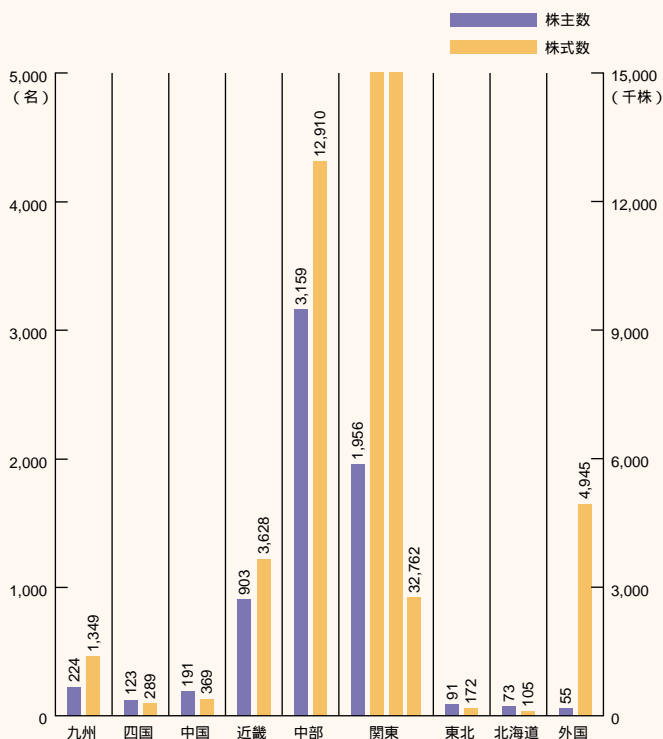
株式の状況 (平成14年2月28日現在)

発行する株式の総数	160,000,000株
発行済株式の総数	56,533,234株
株主数	6,775名
1人平均持株数	8,344株
当期中の名義書換件数	246件
当期中の名義書換株式数	7,163,623株

所有者別・所有株数別分布状況



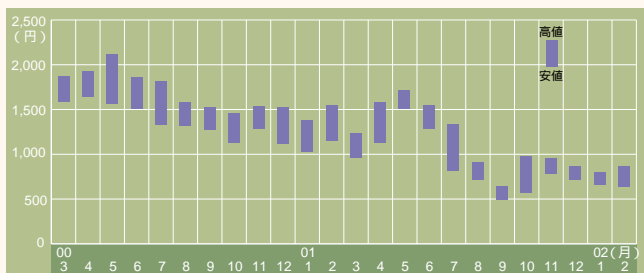
地域別分布状況



大株主(上位10名)

	持株数(千株)	持株比率(%)
シチズン時計㈱	8,658	15.3
UFJ信託銀行㈱(信託勘定A口)	3,593	6.4
㈱第一勧業銀行	2,348	4.2
三菱信託銀行㈱(信託口)	2,179	3.9
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン	1,723	3.0
㈱静岡銀行	1,582	2.8
日本トラスティ・サービス 信託銀行㈱(信託口)	1,451	2.6
住友信託銀行㈱	1,341	2.4
リズム時計工業㈱	1,005	1.8
朝日生命保険相)	919	1.6

過去2年間の株価の推移 東京証券取引所市場第一部における高値/安値



株式についてのご案内

決算期	2月末日
定時株主総会	5月
配当金	利益配当金受領株主確定日 2月末日 中間配当金受領株主確定日 8月31日
基準日	毎年2月末日現在の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載された株主をもって、その期に関する定時株主総会において権利を行使すべき株主とみなします。
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 東京証券代行株式会社
同事務取扱場所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号(新丸ビル) 東京証券代行株式会社 本店 Tel.03-3212-4611(代表)
同取次所	東京証券代行株式会社 営業所および各取次所
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部 ドイツ・フランクフルト証券取引所
公告掲載新聞	日本経済新聞
1単元の株式数	1,000株

スター精密株式会社

本社 / 〒422-8654

静岡県静岡市中吉田20番10号

TEL. 054-263-1111 FAX. 054-263-1057

<http://www.star-micronics.co.jp>

R100
古紙配合率100%再生紙

 PRINTED WITH
SOY INK

環境に配慮した「大豆油インキ」
を使用しています。